

前月比  
人口 72,841 (-52)  
【男女 34,814】  
【世帯数 21,131 (+7)】

# 報 大

# おおだて

1月1日号 (No. 290)

編集と発行 — 大館市役所 (電話) 49-3111  
発行年月日 — 昭和56年 1月1日  
発行日 — 毎月 1-16日  
広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)



## 迎春

未来に向かってトライ!

雪の中を猛練習するチビッコラガー

### 昭和五十六年

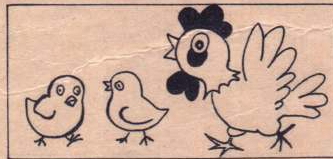
今年はトリ年

サル年が去って、今年はトリ年。トリ年は、十二支の中の十番目の「酉」にニワトリをあてはめたものですが、考えてみてちょっとゆかしいのは、昔、酉の刻といわれた時刻が、今の午後六時ごろとその前後約二時間で、どう考えても夜明けを告げるニワトリにはふさわしくないことです。

また、酉の方角というのは西の方だそうですがニワトリというとなんとなく日の出る方向、つまり東の方向が似合うように思えるのですが……。

それはともかく、ニワトリと人間とのつき合いはきわめて古く、インドでは紀元前一七〇〇年頃にはすでに家畜化され、その後各地に広まったといわれていますが日本には中国、朝鮮半島を経て伝わったとのこと。

有名な天の岩戸の神話で、天照大神(あまてらすおおみかみ)を岩戸から出すため、長鳴鳥を鳴かせたということで、ニワトリが登場



しています。それにしてもニワトリは、昔は暁を告げる霊鳥として宗教的に用いられたり、また、ヨーロッパやアジア各地では闘鶏として娯楽用に使われていたことが多く、どちらかというとオンドリが主役でした。もちろん、肉や卵も食べられていたようですが……。

ところが今では、多くの人にとって卵が朝食に欠かせないものになり、メンドリ主役の時代になりました。特に日本では卵とトリ肉が物価の優等生として歓迎されています。そのわりにはニワトリは、集団生活を強いられ、今ではニワにニワトリの姿を見ることがまれになり、良鶏、比内鶏、金八鶏の本場の当地方でもそのケイゴウが見られずニワトリの声をテレビやラジオでしか聞いたことのない子どもが増えているようで、ちょっとさみしい気もしますね。

ともあれ、良い年でありますように。

#### 1月

陰曆異名・睦月(むつき)  
花暦・福寿草(希望)  
誕生石・ガーネット(貞操)

#### 1月上旬期の主な行事

- 2日(金)・市民新年祝賀会(秋北ホテル)
- 6日(火)・消防出初式
- 8日(木)・交通指導隊出初式
- 13日(火)・新春市民開基大会(中央公民館)